



水のひびき

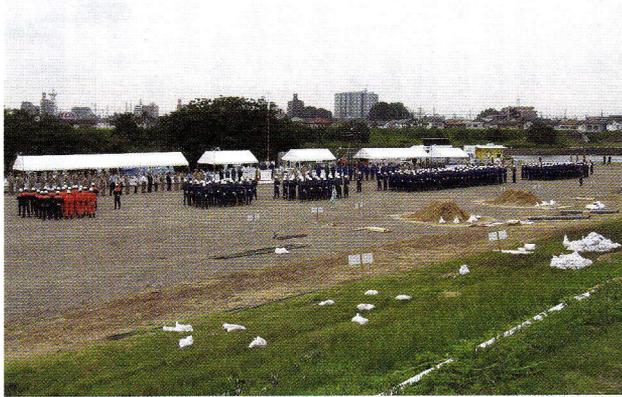
越辺川・高麗川水防演習を実施!!

台風などの風水害から市民を守ります。

平成24年6月24日(日)、大字中里地先の高麗川大橋下流左岸で、平成24年度越辺川・高麗川水害予防組合水防演習が実施されました。

これから台風や集中豪雨等の季節を迎えるにあたり、水防団員等の志気を鼓舞し、作業能力の向上を図り、水防体制の万全を期することを目的としています。

大型で非常に強い台風の接近に伴い、記録的な大雨に見舞われて、高麗川の水位が急激に上昇しているという想定のもと、各水防工法の実演を行いました。水防工法は、土のう作り、シート張り等の8工法を、毛呂山水防団、越生水防団と合同で実施しました。また、女性部による応急救護訓練や多機能部隊による救助訓練が行われました。



あの忘れもしない「東日本大震災」からちょうど一年経った平成二十四年三月十一日、緊急参集訓練を実施しました。この訓練は、いつ発生するか分からない大規模災害時、坂戸市消防団活動マニュアルに基づき参集し、活動及び指揮系統の確認・充実を図ることを目的とした訓練です。日時等の詳細は、あえて事前に団員には知らせず、どれだけの団員が参集、活動できるかが、試されました。

当日は、午前六時二十六分に地震が発生し、坂戸市においては震度五強を観測したとの想定で、実施しました。各分団の全ての部が参集し、午前九時まで管内の巡回等を行いました。



緊急参集訓練を実施

大家分団第3部(団員歴一年) 佐藤 智教さん 西武学園文理小学校 教諭

佐藤さんは、小学生を優しく見守る先生で、日々、忙しい中にも充実した毎日を送っています。

入団したきっかけは、昨年の震災でボランティア活動を行い、被災地の消防団の活動、存在意義、地域組織の大切さを実感して、入団をきめたそうです。

「仕事と消防団の両立は時間のやりくりがとても大変」とのこと。しかし、「消防団に入って仲間も増え、地域の方とのコミュニケーション機会が多くなったことが良



かった」とも話してくれました。

今年の操法大会の練習で、「早朝や仕事が終わってからの夜の練習と忙しく活動していますが、練習の度に習得する技術も多くなる事にやりがいを感じている」と笑顔で答えてくれました。

地域のために、少しでも早く一人前になって活動できるように、と熱く語っていました。

平成24年度消防ポンプ車操法大会の結果



平成24年6月17日(日)、川崎陸送(株)坂戸流通センター駐車場で、平成24年度坂戸・鶴ヶ島消防組合消防団消防ポンプ車操法大会が実施されました。この大会に向けて消防団員は、自分の生業に従事しながら、数ヶ月間にわたる早朝や夜間の厳しい訓練に励んできました。当日の朝は小雨でしたが、心配された天候も回復し、日頃の訓練の成果が、どの隊も十二分に発揮され、消防団が地域防災の要であることを披露・周知することができました。



消防ポンプ車操法とは

消防ポンプ車操法は、火災現場活動の基本となる最も重要な訓練であり、一隊五名で行います。

指揮者が「操作始め」と号令をかけ、4番員の「よし」の合図で、全員が下車。1・2番員が第一線のホース延長、3・4番員が送水準備を行い、2番員の「放水始め」の伝達で4番員が送水を開始し、1番員が筒先放水。基準時間五十五秒間で「標的」を倒します。第一線については、指揮者が「第一線延長始め」と号令をかけ、1番員の復唱「第二線延長始め」の「め」から2・3番員が第二線のホースを延長、4番員が送水を開始し、2番員が筒先放水。基準時間六十五秒間で「標的」を倒します。それぞれ迅速、かつ安全・的確さを競うものです。



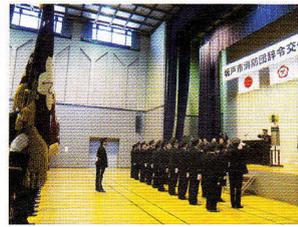
今回の成績

優勝	入西分団	第1部
準優勝	勝呂分団	第3部
第3位	坂戸分団	第1部
入賞	三芳野分団	第2部
入賞	入西分団	第2部
入賞	入西分団	第3部

辞令交付式を挙行

平成二十四年四月一日、勝呂公民館において、「平成二十四年度坂戸市消防団辞令交付式」が執り行われました。

当日は、団員一七四名が参集し、式典は、新年度の初めに相応しく適度な緊張感と厳粛な雰囲気で行われ、栗原団長から新入団員二十名、役職異動者二十九名に辞令が交付されました。新入団員の三芳野分団第2部の飯山進さんが宣誓され、これからの消防団活動に対する熱意、自分の街を自ら守るという郷土愛の精神が、ひしひしと伝わってきました。



優勝 入西分団第1部 直撃インタビュー

閉会式が終了した直後、優勝した入西分団第1部に直撃インタビューをしました。指揮者の内藤洋一選手の話によると、二月中旬から訓練を開始し、五月下旬頃から、週四回の朝練を行い、本番に臨んだそうです。この大会が到達点ではなく、あくまで焦点は、八月二十五日に行われる県大会での優勝だそうです。これから本番だ、という意気込みが伝わってきました。



おとうさんとっしょ!

勝呂分団第1部

吉川 学 団員
颯人くん
紗綾ちゃん



三芳野分団第3部

松本 吉正部長
大樹くん
悠樹くん



編集後記

この号から広報委員会がリフレッシュ。新体制で発行に至りました。広報「水のひびき」第六号は、いかがだったでしょうか?今までの広報委員の方々が培ってきた誌面を踏襲しつつ、新しい話題も提供していきたいと思っていますので、ご愛読よろしくお願ひします。

さて、今年に入り、五月のゴールデンウィーク中の大雨に早々と水防団出動がありました。幸いにして、大きな災害には至りませんでした。このことから台風の季節になりますので、注意喚起をしようと思っております。

消防団は、火災の時だけ出動すると思われがちですが、洪水の季節は、水防団にもなります。一番身近な防災組織の一つとして市民の皆様のご理解、ご協力、応援をよろしくお願ひいたします。



あなたの力を
消防団に!!

お問い合わせ
消防本部庶務課
☎281-3118(内)234

資格: 坂戸市内在住・在勤の18歳~45歳未満の方